

# 被災4県

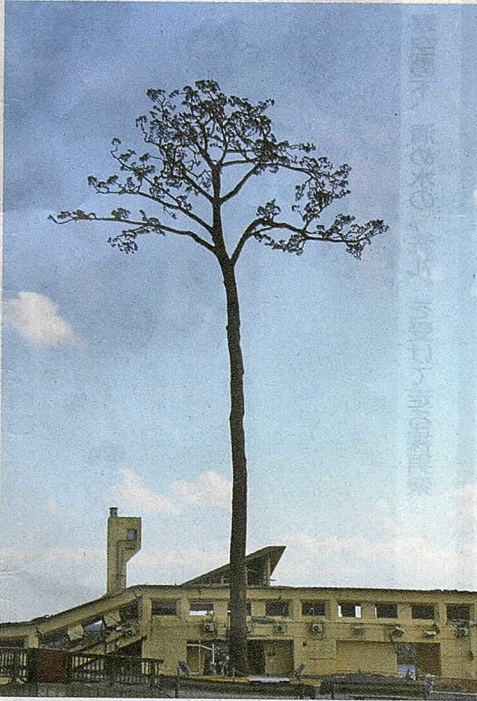
# 巡礼地に「奇跡の一本松」

## 東北お遍路 本県から9カ所選定

一般社団法人東北お遍路プロジェクトは、東日本大震災を語り継ぐ場所として、岩手、青森、宮城、福島、福島の被災4県の沿岸部53カ所を「東北お遍路」巡礼地に選定した。一般公募に基づき、本県出身のシンガー・ソングライターあんべ光俊さんと選定委員が決めた。本県は大船渡市の「津波記憶石」や陸前高田市の「奇跡の一本松」など9カ所。同プロジェクトで公募を続け、随時追加する。

「四国八十八カ所」に倣って震災犠牲者の慰霊、鎮魂のための巡礼地を選定する。あんべさんが提唱した選定5原則により、1000年先まで残したい物語性があることが絶対必要条件で、他に▽震災にまつわるもの(震災遺構など)▽認知度が高い▽人々の命をつないだ場所▽鎮魂の拠点のうち二つ以上を満たしていることが条件となる。

大船渡市三陸町の「津波記憶石」は、1993(昭和8)年の昭和三陸地震の津波で海岸付近か



「東北お遍路」巡礼地の一つに選定された陸前高田市の「奇跡の一本松」

されることも加味した上での選定となっている。他に本県からは▽津波慰霊碑(洋野町)▽大鳥居と楓(かえで)の木(野田村)▽宝福寺(田野畑村)▽三陸鉄道北リアス線カルポナードしまのこし駅(同)▽御蔵山(山田町)▽私設こすもす公園・希望の壁画(釜石市)▽鶴住居メモリアルパーク(同)が選定された。

他県の選定数は青森県が蕪嶋神社(八戸市)の

1カ所、宮城県が仙台空港(名取市、岩沼市)など24カ所、福島県が福島第1原子力発電所(大熊町)など19カ所。選定はあんべさんと宮城大の宮原育子教授、学習院大の赤坂憲雄教授(福島県立博物館長)、民俗研究家結城登美雄さんの委員4人が行った。

らつきがあるのは、公募を基本にしているためで、同プロジェクトでは本県からの応募を広く呼び掛けている。ホームページの専用フォームからも応募できる。アドレスは次の通り。  
<http://tohoku-oheno.jp/>